

報道関係各位

2026年7月24日

クラダシ、「日本DX大賞2026」サステナビリティ部門で
「優秀賞」を受賞
～滞留予測AI「Kuradashi Forecast」の食品ロス原因療法型DXが評価～

株式会社クラダシ(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:河村晃平、以下「クラダシ」)は、**2026年7月22日(水)・23日(木)**に開催された「日本DX大賞2026サミット & アワード」(主催:日本DX大賞実行委員会)において、サステナビリティ部門の「優秀賞」を受賞いたしました。「日本DX大賞」は、DXを通じて社会やビジネスの課題を解決し、持続可能な成長を実現する取り組みを表彰するアワードです。クラダシは、応募総数**186件**の中からファイナリスト**24社**に選出され、このたびの受賞に至りました。



■ クラダシ受賞概要

- ・アワード名: 日本DX大賞2026
- ・表彰式: 2026年7月22日(水)・23日(木)
- ・選出部門: サステナビリティ部門
- ・受賞名: 優秀賞
- ・受賞プロジェクト:
「AIで『余らせない』を設計する 滞留予測AIで実現する、食品ロス原因療法型DX」
- ・主催: 日本DX大賞実行委員会

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当: 齋藤 pr@kuradashi.jp

■受賞プロジェクトについて

クラダシは、賞味期限が切迫した食品や季節商品、パッケージの汚れ・キズ、自然災害による被害などを理由に、消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買取り、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を通じておトクに消費者に届ける「1.5次流通」の市場を開拓してまいりました。

今回評価いただいたのは、1.5次流通で培った独自データを活用し、食品メーカーや卸売・小売の在庫滞留を事前に予測する自社開発の「滞留予測AI」をベースにした、フードロス削減サービス「Kuradashi Forecast」(※1)の取り組みです。単なるデジタルツールの導入にとどまらず、1.5次流通のデータをオープンなプラットフォームとして食品メーカーへ展開し、食品業界の構造そのものを「ロスが出ない仕組み」へと変革していくアプローチが、食品ロスの「原因療法型」DXとして高く評価されました。

※1 参照:「クラダシ、滞留予測AIを自社開発し「余らせない」仕組みを提供する「Kuradashi Forecast」の提供を開始」(URL: <https://corp.kuradashi.jp/news/2026-05-07-1/>)

■Kuradashi Forecastについて

「Kuradashi Forecast」は、メーカーの在庫・販売管理データをAPIやCSVで連携し、独自の滞留予測エンジンによって「滞留リスクの高い危険SKU」を早期に判定するサービスです。実際にクラダシ自らが商品を買取り、売り切ってきたマーケットプレイスとしての実務実績を基に、市場の価格反応に基づいた実効性の高いロジックを提供します。

さらに、予測だけに留まらず、最適な「推奨売価帯」の提示や「Kuradashi」での買い取り提案など、具体的なネクストアクションまで提示することで、メーカーの在庫削減とフードロス削減を強力に支援します。現在はトライアル導入を進めており、今後は各企業のニーズに合わせたシステム構築を進め、さらなる精度向上とサービス改善に努めてまいります。

今後もクラダシは、フードロス削減をはじめ、さまざまな社会課題を価値へと転換しつつ、社会・環境・経済へ確かなインパクトをもたらす「ソーシャルグロースカンパニー (Social Growth Company)」を目指します。

■日本DX大賞とは

日本DX大賞は、DXを通じて社会やビジネスの課題を解決し、持続可能な成長を実現する取り組みを表彰するアワードです。単なるデジタル技術の導入ではなく、組織や社会のあり方そのものを変革する優れたDX事例を広く発信し、日本全体のDX推進を加速させることを目的としています。「日本DX大賞2026」では、「業務変革」「価値創造」「庁内DX」「地域DX」「サステナビリティ」「支援」の6部門で構成され、2026年7月22日(水)・23日(木)開催の「日本DX大賞2026サミット&アワード」にて各賞の発表・表彰が行われました。

・URL: <https://dx-awards.jp/>

・表彰式リリース: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000166.000115435.html>

■Kuradashi Food: フードロス削減の大きな輪をつくる。

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営を核に、サプライチェーンの上流から下流までの全工程に深く関与し、これまでのECの枠を超え、食品メーカーの在庫管理や物流戦略を共に考えることで、フードロス削減が循環する「善い食産業」のインフラとなることを目指します。

URL: <https://corp.kuradashi.jp/food/>

【本件に関するお問い合わせ】

広報担当: 齋藤 pr@kuradashi.jp

■楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」とは
Kuradashiは、楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケットです。
フードロス削減を目指し、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある食品などを、おトクに販売しています。
さらに、売り上げの一部を環境保護・災害支援などに取り組むさまざまな社会貢献団体への寄付やクラダシ基金として活用し、SDGs17の目標を横断して支援しています。
楽しくておトクなお買い物が、社会に良いことにつながる。そんな、全く新しいソーシャルグッドマーケットを創出しています。

URL: <https://www.kuradashi.jp/>

■株式会社クラダシについて

代表者氏名: 河村晃平

設立: 2014年7月

本社所在地: 〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

URL: <https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」: <https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」: <https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr.つるかめキッチン」: <https://tsurukame-kitchen.com/>
- ・オンライン料理教室「La Table de SHIORI Online」: <https://online.atelier-shiori.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧: <https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのインパクト】

- ・インパクトサイト: <https://corp.kuradashi.jp/impact/>
- ・サステナビリティレポート: <https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

【2026年3月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量: 37,951トン ・経済効果: 184億6,465万円
- ・CO2削減量 : 100,607t-CO2 ・支援総額: 187,674,126円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。